

自然はごみ捨て場ではありません



山林へ捨てられた家財道具など

最近、山間部など人家の少ない所への悪質な不法投棄が目立っています。特に多いのは市街地から離れた大淵地区の山林などに、家庭で使った冷蔵庫やタイヤ、洗濯機、テレビなどが運び込まれ捨てられています。

多い山間地への不法投棄

昨年、自然巡視員が不法投棄によるパトロールを実施したところ、このような例が20件以上も報告されました。山林などへ捨てられたごみは、その回収が非常に困難で、これらは自然環境を破壊するばかりでなく、自然景観も損なわれます。

このため、市は不法投棄の多い場所に看板を設置して不法投棄防止を呼びかけたり、巡視パトロールなどを実施していますが、なかなか後をたちません。山林などへ不法投棄すると法律によって罰せられます。

このような廃棄物を処理する場合には、可燃ごみについては第1清掃工場へ、不燃ごみについては大淵の富士産業廃棄物処理組合(☎35-0805)へお持ち込みください。

また、大掃除や引越しなどによって出た不用品については、宇東川西町の市民ふれあいバンク(☎51-3080)へご連絡ください。

科学万博で世界に紹介

本市の下水処理方法

茨城県・筑波研究学園都市で開かれている国際科学技術博覧会で、本市が下水処理方法として試みている吉原下水道処理場の「礫間(れきかん)接触酸化法」と富士見台下水処理場の「土壌脱臭法」が写真パネルで紹介されています。

これは、本市の下水処理が全国的にも珍しい実施例として関係者の注目を集め紹介されたものです。

写真パネルは、縦2メートル、横1.4メートルで、科学万博の第二会場「つくば'85 ふれあいランド」の「リサイクル館」に展示。「守ろう、地球生命圏」をテーマとしたこの「リサイクル館」には、水循環、産業廃棄物再生、エネルギー循環(再生)などのパネルや製品、機械模型が展示されています。



出展されたパネルと渡辺市長

1、富士山のように 高く 教養を深め 視野のひろい市民となります